

平成 27 年度事業計画

平成 26 年度におきまして財政の確立、定款諸規程の整備等の会務改革が進みましたので、事業に専念出来る環境が整いました。

平成 27 年度事業は当協会の使命であります観光立国の推進に向け積極的に活動をして参ります。昨年インバウンド 1,341 万人を達成しましたが、まだその恩恵を受けていない地域も多く、全国の優れた観光資源・宿泊施設をアピールする必要があると考えます。

また、会員旅館ホテルの収益改善に貢献する事業や、労務委員会を新設し労働生産性の向上・人手不足対策をなどにも対処して参ります。

常に会員目線でスピード感を持って同時並行的に事業を進めて参ります。

1. 観光立国の推進（担当：観光立国委員会）
 - ◇ インバウンドの会員旅館ホテルへの誘客
 - ◇ 登録旅館制度への対応
2. インターネットの推進（担当：IT戦略委員会）
 - ◇ 支部連合会単位で「ネットでのFIT集客セミナー」を開催
 - ◇ Open Web の拡大により会員旅館の集客支援と手数料の低減化を図る
 - ◇ 協会ホームページの多言語化と会員旅館の多言語化支援
 - ◇ ユニRez（GDS 及び海外OTAから予約の入るシステム）の推進
3. クレジットカード手数料の低減化（担当：クレジットカード委員会）
 - ◇ 手数料の低減化の研究と実施
 - ◇ ギャランティーリザベーションの研究と折衝
4. 会務の改善（担当：総務委員会）
 - ◇ 定款諸規程の整備
 - ◇ 財政の適正化と透明性の確保
 - ◇ 会員施設の就業規則や各規程、危機管理マニュアルなどのモデルの作成
5. 調査事業（担当：総務委員会）
 - ◇ 会員旅館の営業概況調査
6. 労務問題への対処（担当：労務委員会）
 - ◇ 労務委員会の新設
 - ◇ 人手不足対策及び労働生産性の向上等、具体策の策定

7. 耐震問題

- ✧ 全国旅館政治連盟・耐震問題対策本部を通じての、耐震診断・耐震改修に関する

政治活動、情報提供、新技術の紹介等

8. 委員会の開催

- ✧ 総務委員会

- ① 財務支出の適正化と透明性
- ② 会員調書の内容検討とデータベース化および定期再選考のチェック
- ③ 営業概況調査の検討
- ④ 旅館ホテルにおけるリスクマネジメント
- ⑤ 会員旅館の定款諸規程等のモデル提供
- ⑥ 新貸切バス運賃の宿泊業界の対応について
- ⑦ 外国語放送受信に関する金額等諸問題について
- ⑧ 政府系金融機関に対する要望の集約
- ⑨ 定款諸規程の整備

- ✧ 観光立国委員会

- ① インバウンドの会員旅館ホテルへの誘客
- ② 政府登録旅館制度改正に向けて意見のとりまとめ
- ③ 地方のサービス産業の生産性を高める方策研究
- ④ 観光地経営の視点から「観光まちづくりの人材」を育成していくための方策研究
- ⑤ 旅館業界を取り巻く各種法規制の洗いだしと規制緩和の研究
- ⑥ 観光施策を展開する関係団体との連携、ネットワークづくり

- ✧ クレジットカード委員会

- ① 三菱東京UFJニコスカードとの契約普及
- ② JCB, AMEX, ダイナース等との折衝
- ③ 画期的低減化の研究
- ④ ギャランティーマスターカードの研究と折衝

- ✧ IT戦略委員会

- ① 全連合会でのFIT集客セミナーならびにITセミナーの開催支援
- ② Open Webの一層の拡大により会員の集客支援ならびに手数料の低減化
- ③ 協会ホームページ（日本語＆多言語）の充実と、会員旅館ホームページの多言語化支援
- ④ ユニRez（GDSおよび海外OTAからの予約システム）の推進

◇ 労務委員会

① 人手不足への対応策の策定

② 労働生産性向上の検討

9. 関係省庁、関係団体との連携協調

◇ 観光庁、日本政府観光局（J N T O）、日本観光振興協会

◇ 全旅連、全旅連青年部

◇ 日本旅行業協会、全国旅行業協会、おもてなし検定委員会、（財）J T B等

10. 広報

◇ 機関誌「日本の宿」（年4回）の発行

◇ ツーリズム EXPO ジャパンへの参画

◇ HOTERES JAPAN 、FOODEX JAPAN の共同開催

11. 保険事業

◇ 損害保険の代理店業務

旅館賠償責任保険、トコジラミ駆除費用保険、駐車場保険、食中毒休業補償保険等

12. 国、国会議員（協会顧問の議員、観光産業振興議員連盟）等への要望

◇ 耐震問題、税制、公営宿泊施設問題、地方創生、業法等

13. 各種表彰の実施と推薦

◇ 会員施設の永年勤続従業員、女将表彰

◇ 会員の叙勲、褒章、国土交通大臣表彰の候補者の推薦

14. その他

◇ 当協会目的達成に必要な事業